

クリストファー・アレグザンダー とは誰か?

パターンワーキンググループ
学際タスク

株式会社豆蔵 羽生田栄一

2003年12月12日

内容

- 3部作の紹介
- パタン・ランゲージの紹介

注意

- かなり強い哲学的主張のもとに提示されている
- 工学的な技法というよりは1つの思想としてみる
- よい面と悪い面, 成功と失敗がある
- 自分なりのスタンスをもった上で, 批判的に汲み取るべき深い内容を学び取るべき

3部作の主張

- 3部作
 - 時を超えた建設の道 理論編
 - パタン・ランゲージ ランゲージの実例・手引編
 - オレゴン大学の実験 適用実践編
- 主張
 - 環境の実体はモノではなく、パタンによって構成される
 - それはパタン・ランゲージという言葉のようなシステムによって生成される
 - パタンの綿密な局部的適合がなければ、望ましい環境は作りえない
 - パタンが正しく組織化されたとき、客観的に定義できる形態が現れる

3部作の結果

- 理論と実践のパラドクス
 - 最初の3部作は理論的にほぼ完成されていた
 - そして、生き生きとした建物とそうでないものを区別するのにも使えた
- しかし、
 - パタンを使って生き生きとした建物を作ること
は非常に困難だった
- 「質」を実現するために何かが欠けている！

第1巻と第2巻

- 第2巻：『パタン・ランゲージ』
 - 建設や計画に用いるランゲージ(言語)の1つを示す
 - 町・近隣・住宅・庭・部屋などの細目にわたるパタン(原型)について述べる
- 第1巻：『時間を超えた建築の方法』
 - そのランゲージを用いる場合の理論と指示
 - パタンを正しく用いた建物や町の作り方を示す

時間を超えた建築の方法

The Timeless Way of Building

- 町づくりや建物づくりの根底にある基本的な特性について述べている
- 社会の全員が町づくりや建物づくりに参加し、全員で分かち合う共通のパタン・ランゲージで建物をつくり、しかもその共通言語そのものに生命がない限り、生き生きとした町や建物は、けっして生まれない

パタン・ランゲージ

A Pattern Language

- *The Timeless Way of Building* で要求されるようなパタン・ランゲージの1つを、著者たちなりに提示する。このランゲージは著者らの長年の建設作業や計画作業の結晶であり、きわめて実用的なランゲージ(言語)である。
- これを活用すれば、隣人と共に自分たちの町や近隣を改良したり、家族と共に自宅を設計することができる。また関係者と力を合わせて、オフィス、作業場、学校のような公共建物も設計できる。
- さらにこのランゲージは、実際の工事手順の手引きとしても使える。

パタン・ランゲージ(2)

A Pattern Language

- このランゲージの成分は、パタンと呼ばれる実体 (entity) であり、1つ1つが独立した存在である。
- 各パタンが、私たちの環境に繰り返し発生する問題を提起し、その問題に対して、2度と同じ結果が生まれないよう、解答の要点だけを明示している。
- 使い易さと分かり易さのため、どのパタンも同一の書式にまとめてある。

パタン・ランゲージの書式

- そのパタンの原型を示す写真
- そのパタンの前後関係を規定する前文
 - より大きなパタンの完成にどのように寄与するか
- 太文字の見出し文
 - 問題の本質を短い文章に圧縮
- 問題を論じる本文
 - 経験的背景, 有効性の証拠, 環境への様々な発現
- パタンの急所を示す太文字の解答
 - 一定の状況下で一定の問題の解決に必要な, 物理的・社会的関係 のおよぶ範囲について述べる
- 解答を図化したダイアグラム+パタンの主成分を示す標語
- 最後の後文
 - パタンの完成, 肉付け, 充実に不可欠な, すべての小さなパタン

パタンの相互関係

- 253パタン:町94,建物110,施工48
- パタンには序列がある
 - 地域や町などの大パタンで始まり,近隣,建物群,個々の建物,部屋,アルコーブなどを経て,最後に柱,窓,装飾などの施工細部の小パタンで終わる
- どのパタンも孤立した実体ではない.他のパタンの支持なくしてはこの世に存在できない
 - 上位のパタンにはめ込まれ,同位のパタンに囲まれ,下位のパタンを組み込んで存在する

パタンにおける問題と解答

- 各解答は極めて一般的で抽象的な形をとる
 - 問題解決に必要な本質的な関連領域について
 - その解答を自分の好みや現場の地域条件に合わせて、自分流に問題が解決できる
 - 問題がうまく解決している場所すべてに共通する一定不変の特質 (invariant) を捉えるよう努力
- 3レベル: パタンは仮説でありその信頼度を示す
 - ** そのパタンが真の不変量を的確に捉えている
 - * ある程度は不変量を捉えているが、解答のさらなる改善が見込まれる
 - 無印 真の不変量をうまく定義できなかった

あるパタン・ランゲージ

A Pattern Language

- 本書のランゲージを利用者が、より真実で深遠な不変量の解明に励み、パタンの改良に努めることを願う。
- さらに、時と共に徐々に発見されるより真実なパタンが、全員で分かち合う共通言語のなかに、少しずつ追加されていくことを望む。
- 人々が将来作り出すであろう無数の個人用ランゲージ
- 生き生きとしてまとまりのある社会には、独自で固有の明確なパタン・ランゲージがあり、社会のすべての個人が、部分的に共有はするにしても、全体としては独自のランゲージをもつであろう
- とはいえ、本書のパタン・ランゲージはそれら生き生きとし人間味あるランゲージの原型的核となるだろう